

第4部. 各部署における環境活動目標と達成状況の自己評価

各部署の目標については、実際に掲げてもらったものをそのまま記載してあります。

○評価について

A	実施できた	実行率 80 ～ 100%
B	概ね実施できた	実行率 50 ～ 80%未満
C	あまり実施できなかった	実行率 20 ～ 50%未満
D	実施できなかった	実行率 20%未満
—	判断ができないもの	

総務企画部

所属名	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
総務課	コピー用紙の使用量削減	◆両面・割付印刷等の積極的な活用。他課へコピー用紙を払い出す際、申請簿に記入してもらい、紙をどれだけ使用しているか意識してもらう。庁議等の会議は出来るだけパソコンを活用し、ペーパーレスとする。	A
	グリーン購入法適合商品の購入を積極的に行う。	◆消耗品購入時にグリーン購入法適合商品の確認を行い、適合商品を優先して購入する。	A
総合企画課	紙の使用の無駄を無くし、資源の節約に努める。	◆印刷をする際は両面コピー・縮小コピー・割り付け等を活用する。生じてしまったミスコピーは、機密文書以外の用紙の裏紙を再利用する。	B
	グリーン商品適合商品の購入を心がけ、環境負荷の軽減に努める。	◆事務用品等の消耗品の購入の際は、出来る限りグリーン購入適合商品を購入する。	A
多文化交流センター	八千代市多文化交流センターの電力量を1%削減する。	◆冬季間を除き、開館前の午前9時までの照明及び通訳が帰った後の午後5時までの照明をOFFとする。冷房の設定温度は28℃以上に設定し、暖房は20℃に設定する。パソコン使用時の明るさを75%にする。今年度から八千代市国際交流協会の事務局が週3日入ったため、電力量の増加は避けられない状態ではあるが、日々の節電に努める。	A
	八千代市多文化交流センターの資源の節約	◆コピーは両面コピーを原則とする。	B
公共施設マネジメント推進課	両面・割り付け印刷等を積極的に活用し、使用する紙の使用量を削減する。	◆会議資料等を印刷する際は、両面・割り付け印刷等を行う。	A
	執務効率を向上させ、残業時間を削減する。	◆職員の行っている業務の共通認識を深めることで執務効率を向上させる。（年間を通じて行っていく）	C
	グリーン購入適合商品の購入に努める。	◆消耗品等を購入する際はエコマーク商品のカタログを参考に購入する。（年間を通じて徹底する）	A
コミュニティ推進課	消耗品はグリーン購入に適合した商品を選ぶ。	◆1%支援制度事務・コミュニティ推進事業事務において、必要な消耗品はグリーン購入適合商品か確認し購入する。	A
	紙の消費量を減らす。	◆公募による審議会等市民選考委員会用の資料作成において、担当課に両面印刷で提出してもらうようお願いしたり、ミスコピーはメモとして極力使用するよう努める。	B
	1%支援団体に市の環境推進について周知する。	◆紙やインターネットによって市の環境推進について周知する。	A
市民活動サポートセンター	市民活動サポートセンター主催事業のサポートセンターまつりでの設備（消耗品類）のリユース化	◆サポートセンターまつり開催（11月）にあたり、設備（看板等）を再利用できるもので準備する。	A
	市民活動サポートセンターホームページ利用者への市の環境推進についての周知	◆市民活動サポートセンターホームページに環境推進についてのお知らせを掲載して、利用者への周知を図ります。	A
	消耗品はグリーン購入に適合した商品を選ぶ。	◆市民活動サポートセンターの業務において、必要な消耗品はグリーン購入適合商品か確認し購入する。	A

所属名	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
秘書課	秘書業務遂行にあたり、環境への負荷を抑制する	<p>◆公務のための移動にはなるべく公共交通機関を使用する。やむを得ず公用車を使用する際は、効率的にスケジュール管理をしてCO₂排出を削減する。</p> <p>◆日中更なる業務の効率化を図り、残業時間を減らして、照明その他の電力使用量を削減する。</p> <p>◆資料等の電子化を進め、紙の使用量削減を図る。</p>	B
行財政改革推進課	マイカップを持参し、使い捨てコップ等のゴミを削減します。	◆マイカップの持参を呼びかけ、使い捨てコップの使用を抑制します。	B
	グリーン購入法適合商品の購入に努めます。	◆消耗品等を購入する際、グリーン購入法適合商品から選ぶよう心がけます。	B
	印刷用紙の減量に努める。	◆紙の使用量を削減するため、会議のペーパーレス化に努める。なお、文書等を印刷する際は、割付・両面印刷で出力するよう周知を図る。	B
広報広聴課	紙資源の節約を心がける。	◆広報やちよ、市民便利帳、市長への手紙の在庫数を管理し適正な印刷部数に調整する。	B
	広報やちよに環境に関する情報を掲載する。	◆特集やコラムなどに環境に関する情報を掲載する。	A
	パソコンを利用することによる紙資源の節約を行う。	◆広報用写真は全てデジタル一眼レフカメラで撮影し、撮影写真確認はディスプレイ上で行い、カラー印刷を最小限に抑える。	A
情報管理課	個人で可能なPCの節電対策について、全職員へ呼びかける。	◆具体的な節電方法について、6月及び12月にGW掲示板へ掲載する。	A
	消耗品について、可能な限りグリーン購入法適合商品を購入する。	◆消耗品を購入する際、意識してグリーン購入法適合商品を探し購入する。	A
戸籍住民課	コピー用紙の使用数削減を図る。	<p>◆両面印刷や割付印刷を積極的に利用する。</p> <p>◆必要数の確認を明確にし、無駄な出力を抑える。</p>	A
	グリーン購入法適合商品の購入に努める。	◆消耗品購入の際、対象商品の購入を積極的に検討する。	A
八千代台支所	昨年より電気使用量を2%以上削減する。	◆昨年に引き続き蛍光灯を外した間引き点灯を行い、使用しない電気器具のコンセントを必ず抜く。また、ブラインドを使って直射日光が入る量を調整し、エアコンの使用を抑えるようにする。	C
	昨年よりガス使用量を10%以上削減する。	◆ガス用具の使用後は、ガスの元栓を必ず閉めるようにする。7月から9月の夏の期間は特に給湯器のお湯を使用しないようにする。	A
八千代台東南支所	市民への意識啓発	◆市民に向けて、エコアクション21環境方針の掲示や、環境保全に関するチラシ配布により情報提供を行う。	A
勝田台支所	紙資源の再利用	◆機密文書以外の不要紙はコピー用紙等に活用し、使用量の軽減に努める。封筒の再利用を行う。	A
米本支所	電気・ガス・水道・灯油の使用量を前年度より3%削減を目標とする。	◆前年度より引き続きグリーンカーテンの導入により夏の電気使用量を削減する。夏季は扇風機で空気を攪拌し、冬季は入口の隙間に防寒材を敷くなどし、効率的な冷暖房の使用を図る。節電・節水の徹底を図る。	A
	資源循環の推進を目標とする。	◆可燃ごみとして処分していた紙類の中から資源物としての分別・処理の徹底を図る。グループウェア用のプリンターには100%裏紙を使用する。	A
高津支所	エアコンの使用を控える。使用する時は設定温度を厳守する。	◆年間を通して夏、冬のエアコンの設定温度の張り紙をする。夏場の暑い時期は貸出用の団扇を配置する。	A
村上支所	使用電力量・ガス量の削減を図る。	◆室内気温に注意をし、冷暖房の適切な管理を行う。また、蛍光灯の間引きや、必要時以外の消灯を徹底し、使用量3パーセント削減を目指す。	B
	廃棄される用紙類の減量を図る。	◆個人情報等の機密文書以外の不要紙は、コピー用紙やメモ用紙としてリサイクルしていく。	A
睦連絡所	資源ごみの削減に努める。	◆消耗品の有効活用とミスコピーの防止に努める。個人情報以外の裏紙再利用。	B

所属名	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
職員課	グリーン購入適合商品の積極的購入	◆消耗品購入時、グリーン購入適合商品を確認し、積極的な購入に努める。(目標購入率：80%以上)	A
	ノー残業デーの推進	◆庁内放送でノー残業デーの呼びかけを行う。(毎週火曜日・木曜日)	A
	新入職員に対する環境教育を継続するとともに、プログラムの充実や対象の拡充を図る。	◆環境教育を含んだ研修プログラムを計画する。	A

財務部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
財政課	両面・割付印刷及び裏紙の積極的な活用等により紙の使用量を最小限とする。	◆通年：定期的に両面・割付印刷及び裏紙の活用を呼び掛ける。	A
契約課	紙の使用枚数の削減	◆会議等でプロジェクターを使用し、配布資料部数を削減する。また、業務上作成する書類や資料のうち可能なものは、プリンターの印刷設定を両面印刷または割付印刷に設定し、紙の使用枚数を削減する。	A
管財課	エコドライブの推進	◆安全運転研修等を実施する際に、エコドライブの励行を行う。 また、各車両の燃費効率を把握することに努める。	A
納税課	紙や事務用品を購入する際には、なるべくグリーン購入基本方針に該当するものを購入するよう心がける。	◆グリーン購入の周知徹底と推進を図る。	A
	印刷用紙の使用量をなるべく抑えるよう心がける。	◆印刷ミスやコピーミスに気をつけ、両面・割付印刷を心がける。また、機密文書以外の不要紙は裏紙としてテスト印刷やメモ用紙とする。	B
	廃棄時の分別を徹底し、リサイクル・再利用に努める。	◆ペットボトルキャップのリサイクル等により、資源化を促進していく。ファイルやボックスなどはなるべく再利用するよう心がける。	A
市民税課	グリーン購入適合商品の購入に努める。	◆消耗品の購入にあたり、グリーン購入適合商品を購入するよう課内回覧で周知する。グリーン購入適合商品の一覧表を、主な物品購入の相手先であるジョイフル本田のジョイフルカード管理簿のファイルに入れ、どんなものがグリーン購入適合商品なのか分かるようにする。	A
資産税課	窓あき封筒発注の際には、窓部分にリサイクル可能な素材グラシンを使用する。	◆4月の市税封筒印刷発注時にグラシン窓で発注する。	A
	事務用品を購入する際には、予算との調整を図りながらなるべく八千代市グリーン購入基本方針に沿ったものを購入するよう努める。	◆消耗品を発注する際には、カタログ等でグリーン購入適合商品か否かを確認し、なるべく適合商品を購入する。	B
債権管理課	グリーン購入適合商品を購入するよう努める。	◆消耗品の購入の際は、グリーン購入適合商品であるかの確認をすること。	A
	ミスコピーを減らし、両面印刷にして紙の削減に努める。	◆印刷する前にプレビュー画面で確認をし、文書受付時及び会議資料等の作成時においては、できる限り両面印刷にすること。	A

健康福祉部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
健康福祉課	コピー用紙の使用量低減に努める。	◆可能な限り両面印刷を活用する。また、機密文書以外の用紙についてはリサイクルを心掛ける。	A
	グリーン購入適合商品の購入・使用を周知徹底する。	◆事務用品については、グリーン購入適合商品を優先的に購入し、使用する。	B
	自動車運転の際は、エコドライブを心掛ける。	◆自動車を利用する時は、急発進・急ブレーキの回避に努める。また、アイドリングストップを徹底する。	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
福祉センター	包装の破損や印字ミス、賞味期限に近づいた等といった理由から、品質には問題がないにもかかわらず廃棄されてしまう食品・食材の活用を行いゴミ減量に努める。	◆左記の食品・食材を集め、必要としている福祉施設・団体等や生活困窮者へ無償で提供している団体に定期的に協力する。平成27年度は①第10回：5月18日（月）～6月30日（火）、②第11回：9月14日（月）～10月30日（金）、③第12回：1月12日（火）～2月29日（月）に回収窓口として協力予定。	A
ふれあい プラザ	包装の破損や印字ミス、賞味期限に近づいた等といった理由から、品質には問題が無いにも関わらず、廃棄されてしまう食品、食材の活用を行いゴミ減量に努める。	◆施設内に設置場所を設け、左記の食品、食材を集め、必要としている福祉施設・団体等や生活困窮者へ無償で提供している団体に定期的に協力する。平成27年度は5月18日～6月30日、9月14日～10月30日、平成28年1月12日～2月29日に回収窓口として協力予定。	A
	パッションフルーツを玄関脇に設置することで日陰をつくり、夏場のエネルギー消費の削減に努める。	◆ふれあいプラザ玄関脇に設置しているグリーンカーテンの継続	A
市営霊園	自動車の排出ガスの削減に努める。	◆外出業務の効率化により、自動車の使用を減らす。	B
	一般廃棄物の削減に努める。	◆参拝客の花や刈った草は乾燥させてから処分し、また草の一部は堆肥に利用することで廃棄物の量を減らす。	A
	グリーン購入を徹底する。	◆事務用品の購入は、必ずグリーン購入法適合商品とする。	A
生活支援課	温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出削減。	◆近隣地区の訪問調査・病状調査等であれば、担当課等の公用車ではなく、自転車を利用する。	A
	「グリーン購入」への積極的取組。	◆消耗品購入の際には、予算の範囲内でグリーン購入適用商品を購入する。	A
	リサイクル活動への取組み。	◆紙類（ミスコピー、封筒など）、瓶、缶等、積極的に分別を図る。	A
長寿支援課	市民や事業者向けの通知文書の内容を見直し、わかりやすくすることで問い合わせや窓口対応の削減を図る。	◆文書内容を見直し、わかりやすくすることで電話や窓口での対応が減り、事務の効率化が図られる。それにより、残業削減や時間外の電力消費を抑えられる。また、来庁者も減ることにより、二酸化炭素排出量の削減も期待できる。	B
障害者支援課	廃棄される用紙の削減を図る。	◆機密文書とその他文書に用紙を分別し、不要な用紙のリサイクルを促進する。	B
	グリーン購入法適合商品の購入に努める。	◆消耗品等購入時、できる限りグリーン購入対象か確認をし、購入する。	A
	コピー用紙の使用量削減に努める。	◆両面・縮小コピー等を活用し、使用量の削減を図る。	B
	ガソリン使用量の削減。	◆近距離の訪問時には自転車を使い、ガソリン使用量の削減を図る。	B
第1・2・3 福祉作業所	コピー用紙の使用量を抑える。	◆会議資料、配布物など可能な限り、両面印刷をすることを徹底する。	C
	アルミ缶、スチール、ペットボトルの資源ごみを分別しリサイクルする。	◆資源回収を行っている第2作業所を中心に分別、回収を徹底していく。	A
	全作業所とも建物内外の環境整備を徹底する。	◆祝祭日を利用し、環境整備を実施する。	B
障害者福祉センター	グリーン購入法適合商品の購入に努める。	◆消耗品等購入時、できる限りグリーン購入対象か確認をし、購入する。	A
児童発達支援センター	紙の使用量の低減を図る。	◆両面印刷、割り付け印刷を活用したり、裏紙を使い印刷したりする。 ◆共有フォルダやネットワークを活用し、パソコン上で文書を共有する。	A
	節水することや、水を大切にすることを子どもたちに教えていく。	◆手洗いや歯磨きの場面で、水の蛇口を開けすぎないことや、きちんと蛇口を閉めることを指導していく。	A
	廃品や空容器を遊びの中で活用する。	◆教材やおもちゃを作成する際、ペットボトルや空き箱、牛乳パックなどを有効活用する。 ◆遊びの場面で新聞紙やちらし紙、ペットボトルなどを使用する。	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
健康づくり課	外部団体に働きかけることにより、保健センター全体の節電を進める。	◆施設内の節電について、年間を通して使用許可を出している医師会・歯科医師会・薬剤師会に働きかける。	A
	用紙等廃棄物の減量とリサイクルを進める。	◆ゴミ分別を徹底し、裏紙の利用、不要となった用紙類のリサイクルを進める。また、紙ファイル他事務用品の再利用に努める。	A
	グリーン購入適合商品の購入に努める。	◆グリーン購入適合商品の購入についてさらに努める。	A
	低公害車への切り替え	◆公用車について低公害車の導入に努める。	D
国保年金課	コピー用紙の削減。(職員の意識の高まりにより昨年度は使用枚数405,000枚となった。意識の継続を行い今年度は400,000枚以内を目標とする)	◆両面・集約コピーの活用、及びミスコピーの裏面の有効利用等を行い、無駄な用紙を出力しないよう職員一人一人が意識する。	C

子ども部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
元気子ども課	回覧等の内部文書、資料については、印刷設定の「割り付け」及び「両面印刷」の利用に努めるとともに、部内掲示板の活用等、電子データによる情報の共有を図り、用紙使用量の削減を徹底する。	◆通年において、庶務業務を中心に、通常業務の中で割付印刷及び両面印刷を徹底するとともに、電子データでの情報共有が可能なものは印刷を控える。	A
	エコドライブ(アイドリングストップ、急発進・急ブレーキの回避など)によるエネルギー効率の良い、無駄のない運転に努める。	◆子ども相談センターの相談業務等で使用する公用車運転の際のエコドライブに努める。	B
	グリーン購入法適合商品の購入に努める。	◆消耗品の購入に際し、グリーン購入法適合商品があるか確認する。	B
子育て支援課	所管の各施設に光熱水費、紙使用量の削減の意識を持ってもらう。	◆各施設の光熱水費、紙使用量を把握し、削減の意識を高めてもらうよう呼びかける。	B
	課内で印刷する紙の使用量を削減する。	◆なるべく両面印刷をすることで、使用量を削減する。	A
ゆりのき台 保育園	グリーン購入を普及啓発し、導入を推進します。	◆コピー用紙は、グリーン購入適合商品を購入する。文房具や蛍光灯などもグリーン購入対象商品表と照らし合わせて適合商品の購入に努める。	B
	廃棄される用紙類の減量を図る。	◆コピー、印刷用紙は両面印刷、裏紙使用、縮小機能を利用	A
	電気使用量と水資源の節水を図る。	◆時間外保育は、人数の推移により使用する部屋を少なくし必要最小限の照明にする。職員一人一人が節水の意識を高め、実行し報告を促す。	A
八千代台 保育園	八千代市の環境方針の基本理念及び基本方針に従い、環境意識の自覚を高め利用者等への周知理解を広げながら、積極的に実践を推進します。 「自然と人のくらしが持続的に調和するまち」という基本方針を受け、あらゆる保育の場において子どもたちに自然や資源の大切さを伝えて行きます。	◆一年を通し、自然光を生かし、時間帯や天候、園庭に出る際等の消灯をこまめに実施する。	A
		◆日常的に節電・節水について子ども達に指導し、関心を高めると共に、保護者の理解と関心も高めていく。	B
		◆印刷済みの用紙の裏面使用(印刷間違えを極力無くす)や封筒や紙類の再利用に心掛ける。	A
米本南保育園	すだれを窓につけたり、琉球あさがおやゴーヤ等のグリーンカーテンを実施する。	◆根づいた琉球あさがおや新たに植えたゴーヤの生育を助け、子どもたちと一緒に水やりや草取りを行い栽培していく。 ◆西日のあたる部屋には、日よけ・すだれ・グリーンカーテンなどを利用して、冷房を抑え温暖化防止に心がける。 ◆エアコンの設定温度に留意し、快適に過ごせるよう工夫する。(あわせて衣服の調節なども心がける) ◆日中は窓を開けて、自然の風通しをよくしたり、扇風機やうちわなどを利用する。	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
	廃棄物の削除のため、3Rの推進を行っていく。	<p>◆可燃ゴミは、生ゴミや牛乳パック・その他で分別をきちんとする。</p> <p>◆不燃ゴミ（缶・ビン）や資源ゴミ（ダンボール・紙類・ペットボトル）にきちんと分別して業者に回収してもらう。</p> <p>◆使用済みの油は、外の物置の灯油タンクに保管し、回収業者（マルショウ）に依頼して回収してもらう。そこから、中間処理工業で目的別に仕分けしている。（精製・飼料用と工業用油脂として出荷、動物のエサ・油性インク素材・石鹼やタイヤの再利用など）</p> <p>◆使い古したスポンジや布きんは、すぐに捨てずに掃除用に再利用する。</p> <p>◆洗い物のすすぎに使用した水は、床そうじに使用する。（給食室）</p> <p>◆ゴミとして捨てる物は、かさばらないようにつぶしたり、コンパクトにして処分し、ゴミ袋の使用を抑える。</p> <p>◆ペットボトルや空き箱などを再利用して、手作りおもちゃを作る。</p> <p>◆広告や包装紙等を利用し、子どもたちのお絵描きや折り紙などにする。無駄に使用しないよう、子どもたちには言葉がけをする。（紙は木からできている事なども知らせ、木は大切な資源であり、人間が生きていく上でも必要な物など、わかりやすく話す。）</p>	A
	印刷枚数の軽減に努め、3Rの推進を行っていく。	<p>◆裏紙を再利用して印刷する。</p> <p>◆コピーは枚数を減らすため、A4サイズのはA3サイズでダブル又は両面印刷をする。</p> <p>◆印刷するものを厳選し、回覧などを利用して共有する。</p> <p>◆各自意識しながら印刷プレビューで確認をし、印刷ミスを減らす。（電気代やインク代・紙代削減）</p>	A
	節電・節水を実施する。	<p>◆電気は必要に応じてこまめに消したり、午後、日が入る部屋は電気をつけず自然の光で過ごす。</p> <p>◆節水や水の大切さを子どもたちに知らせ手洗い、歯磨きなど、水を出しっぱなしにしないよう声をかけ見守る。</p>	A
八千代台西 保育園	各自がエコに対しての意識を高めていく。	<p>◆エアコンの設定温度を28℃とする。</p> <p>◆あさがおやゴーヤでグリーンカーテンを作り節電対策をする。日差しが強い日には庇を下す。</p> <p>◆手洗い時の水の出し方に気を付ける。</p>	B
高津南保育園	紙の使用量を減らす。折り紙の量を減らす。	<p>◆お絵かきの紙は広告紙の裏や頂いた紙を使用する。</p> <p>◆折り紙の使用は作品以外はなるべく包装紙や広告で作るようにし使用を抑えるようにする。</p>	A
	環境にやさしい洗剤を使用する。	◆洗剤を落ちの良いエコな物に変え、量も計量していく。	A
	ゴミ袋の消耗を減らす。	<p>◆ゴミの量を出来るだけ減らすように職員に周知していく。ゴミはなるべく小さくすること、牛乳パックは小さく、ヨーグルト容器はつぶすようにする。</p>	A
八千代台南 保育園	①エネルギー（水道、ガス、電気）の節約	<p>◆電気：使用していない時や日差し、明るさに合わせて電気をこまめに消したり、扇風機やエアコンもつけっぱなしにしない。エアコンは、扇風機と併用する。また、フィルターの掃除をこまめに行う。</p> <p>◆水道：手を洗う時の水量を少なくしたり、出しっぱなしにしないようにする。</p>	A
	②資源の節約	<p>◆紙などの再利用・ゴミをなるべく出さないように意識する。</p> <p>◆ゴミの分別</p>	A
	③室内の温度上昇を防ぐ工夫	<p>◆朝夕、園庭の水撒きをする。</p> <p>◆カーテン、ヨシズを使い日差しを抑える。</p>	A
村上北保育園	節電に努める	<p>◆小まめに電気を消す。</p> <p>◆夏場のエアコンの使い方に気を付ける。（設定温度や留守時には消す。）</p> <p>◆天気の良い日は窓側の電気を控え、自然光を利用する。</p> <p>◆蛍光灯の本数を減らしておく。</p> <p>◆張り紙をし、意識づけをする。</p>	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
	節水に努める。	◆水道使用時は、必要以上の水量にならない様にする。 ◆水撒き等、溜め水で対応出来る所は利用する。 ◆夏のシャワー、プール、水遊びなどの時も、水を大切に使う様心掛ける。 ◆手洗い、うがいなど、子どもたちにも適切な水量や節水の意識を伝えていく。	A
	グリーンカーテン等を実施する。	◆夏場は2 F テラスや1 F の水道の所にアサガオ・ゴーヤなどを植え、室内に直接光が入らない様にするなど自然環境を取り入れていく。	B
	ガスの節約に努める。	◆夏場のシャワー浴時は、なるべく続けて行い短時間で済ませる様にする。 ◆冬場のファンヒーターの使い方（温度設定や留守時は消す）に、気をつける。 ◆給食室でも調理の際に心掛ける様にする。	A
	紙、インク等の節約に努める。	◆印刷物の種類によって白紙と裏紙を使い分ける。 ◆必要以上に印刷しない。（F A X は内容を確認してから印刷出来る様になるのが望ましい。）	A
睦北保育園	電気・水道・ガス・灯油の無駄の削減に努める。	◆電気は必要に応じて消したりつけたりをこまめに行ったり、水を使う場所では具体的な節水を考え啓蒙する。エアコンや灯油ストーブは設定温度を常に気をつける。	A
	グリーンカーテンを実施し環境にやさしい省エネに努める。	◆夏の時期、日差しが強いところにグリーンカーテンを実施して省エネを図る。	A
すてっぷ 21 勝田台	使用済み用紙の裏面利用やリサイクルを徹底し、廃棄用紙の減量に努める。	◆使用済み用紙をサイズ別に分別し、使用していく。	A
	グリーン購入適合商品の購入に努める。	◆グリーン購入適合商品の購入に努めるとともに、無駄遣いを減らしていく。	A
	節電に努める。	◆グリーンカーテン・日よけ・扇風機を利用し、室内の温度上昇を抑える。 ◆冷暖房の適切な温度と管理、蛍光灯の間引き、こまめな消灯などを行い、節電に努める。	A
	水道・ガス・電気の使用を把握し、無駄を削減するように努める。	◆職員の周知を徹底し、削減するよう心がける。	A
すてっぷ 21 大和田	事務用品で使用するものをエコ商品とし、グリーン購入率の向上	◆グリーン購入適合商品を購入するよう心がける。	A
	室内の温度上昇を抑え、エアコンの使用を控える。	◆遮光ネットやグリーンカーテンを設置し、節電の意識の向上を図る。	A
	水道、ガス、電気の使用を把握し、無駄を削減するように努める。	◆職員の周知を徹底し、削減を心掛ける。	A
	紙の使用量を削減する。	◆ミスコピーを減らし、両面印刷や裏紙を利用することで紙の使用量の削減に努める。	B
高津児童会館	光熱水費の削減に努める。	◆使用しない電気器具、照明はこまめに切り使用量の削減に努める。 ◆水道の使用を極力控える。	B
村上児童会館			A
米本児童会館			B
母子保健課	ゴミ減少・リサイクル活用	◆両面コピー・裏紙の利用を引続き推進していきたい。また、窓開き封筒については、リサイクル可能なグラシン紙を使用し、グリーン購入対象商品の購入率の向上に努める。	B

生涯学習部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
生涯学習振興課	市民の環境に対する理解が深まるよう、「まちづくりふれあい講座」の周知を行う。	◆「まちづくりふれあい講座」について、パンフレットを作成、配付し、またホームページに掲載する。	A
総合生涯学習プラザ	省エネルギー型の施設を目指し、事業者に省エネルギーを促進します。	◆維持管理・運営総括責任者を中心に構成された環境対策専門部会において立案した省エネ計画や活動内容をチェックしていく。	A
八千代台 東南公民館	施設利用者に対して、環境推進の啓発	◆施設内に節電や節水に関するチラシの掲示を行い、市民の環境への意識向上を図る。	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
大和田公民館	環境ボランティアなどを希望する市民対象に主催講座の開催を検討。	◆近隣市における環境ボランティア活動の実態を調査し、八千代市でも取り組めるような内容の講座の開催を検討。	D
阿蘇公民館	赤十字からのＡＥＤ寄贈に伴い、主催事業として市民を対象に安全環境に関する講座を実施。	◆成人対象にＡＥＤの使い方をマスターして使いこなす術を学ぶ講座を実施した。幼児の親子学級においてもママたちに「いざというとき慌てないＡＥＤの使い方」を取り入れた。	A
	コピー用紙使用量の削減	◆両面印刷・縮小印刷する。例年近隣小中学校校宛の講座申込書を紙で作成配布を中止し電話申込とし節約した。	A
	施設利用者に対して環境に関する意識啓発を促す	◆施設内すべてに「節電」・「節水」のチラシ・ポスターの掲示をする。	B
高津公民館	節電対策	◆公民館利用者（特にサークル団体）には、日頃の節電を心掛けるよう、呼びかけや貼紙等で啓発する。	C
勝田台公民館	環境ボランティアの協力を得ながら、公民館の緑化を図る。	◆緑化公社から提供を受けたサルビア、小菊を環境ボランティアの方に実施体験として、敷地内の花壇に植えてもらい、緑化を図った。	A
	主催講座として環境に関する講座を開催する。	◆成人、親子を対象とする講座を実施する。	A
八千代台公民館	部屋に設置されているエアコンフィルターの清掃回数を増やす	◆半年に１回程度の清掃を、３か月に１回程度にする	A
村上公民館	環境ボランティアなどを希望する市民対象に主催講座の開催を検討します。	◆近隣市における環境ボランティア活動の実態を調査し、八千代市でも取り組めるような内容の講座の開催を検討、実施する。	D
睦公民館	公民館利用者に対して、環境推進の啓発をする	◆館内にチラシやポスターを掲出して、日頃からの節電・節水を呼びかけ、意識の向上を図っていく。	C
緑が丘公民館	施設利用者に対して、環境に関して意識啓発を促す。	◆施設内に節電や節水に関するチラシの掲示を行い、利用者に対して環境について意識啓発を促すよう検討する。	A
八千代台東南公共センター	施設利用者に対して、環境推進の啓発	◆施設内に節電や節水に関するチラシ等の掲示をおこない、市民の環境への意識向上を図る。	B
中央図書館	図書館で不要になった本や、市民から提供された寄贈図書で図書館に配架しないものはリサイクルに努める。	◆リサイクル文庫を活用し、利用者への資料の提供を図る。１１月にブックリサイクルフェアを行い、多くの利用者に来場・利用してもらうようポスターなどで周知する。	市A/ 指A
	図書館のコーナーや展示を利用し、エコや節電、環境について利用者に対して情報発信を行う。	◆展示スペースにてコーナー展示や書籍の貸出を行い、利用者に対して情報発信を行う。	市A/ 指A
	エコアクション２１に係る環境活動について、市職員だけでなく指定管理業者へも浸透を図る。	◆グリーン購入の推進を行い、環境負荷の低減に取り組む。 ◆紙類について適切な使用枚数の確認や、両面印刷を行い、利用量の削減を行う。 ◆施設維持について、電気・水道・ガスについて、照明や空調などの適切な管理を行い、節減に努める。	市A/ 指B
大和田図書館	冷暖房の温度調整及び利用者の協力により、使用しない部屋の消灯等、節電を図る。	◆冷房２８℃暖房は２０℃設定にする。また窓を開けて自然風や扇風機を利用する。 ◆パソコンやコピー機を一定時間、利用しない場合は、電源をＯＦＦにするか待機状態にする等の工夫を行う。	A
	図書館で不要になった本、市民からの提供本はリサイクルに努める。	◆各図書館でリサイクル文庫を活用して、資料の再利用を図る。	A
	コピー用紙使用量の削減を図る。	◆両面印刷を利用して、コピー用紙の削減を図る。 ◆再生紙と上質紙の使用用途を使い分け、上質紙の使用を最低限に抑える。	A
八千代台図書館	電気使用量の削減に努める。	◆使用していない電気機器の電源を落とす。パソコン不使用時には、スリープモードに移行するよう設定をする。 ◆冷暖房の温度設定を冷房は２８℃、暖房は２０℃に設定する。	A
	用紙の使用量の削減に努める。	◆不要な用紙を出さないように努め、ミスコピーはメモ用紙や裏面利用などに回す。 ◆両面コピー、縮小コピーを活用する。	A
勝田台図書館	コピー用紙の使用量削減	◆用途によって、両面印刷や縮小印刷をする。 ◆ミスコピーしたものは裏面を再利用する。	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
	電気使用量の削減	◆使用していない場所の電気を消す。 ◆冷暖房の温度をまめに調節する。	A
緑が丘図書館	環境に関する図書の企画展示を行い、多くの市民に情報を提供することで関心を高める。	◆2階の児童室、3階の一般室でそれぞれ1回以上実施。展示の期間は約1ヶ月間。展示用書架を使用し気軽に手に取って借りることができるように工夫する。	A
	施設内の消費電力を抑え節電を図る。	◆冷暖房の温度設定、不要な電灯の消灯など年間を通して節電を意識した体制の業務を心がける。	A
文化・スポーツ課	市役所へ事務連絡等で外出する際、公用車の使用頻度を控えるよう努める。	◆事務連絡等で外出する際、他に提出書類がないか課全体で取りまとめを行い、公用車の使用頻度を控えるよう努める。	A
	市民会館や文化センター等各施設内の照明や空調の過度な使用を控えるよう呼び掛けを行い、電気使用量の削減を図る。	◆指定管理者へのエコアクション21の周知を徹底し、照明や空調の適切な管理を行うよう指導する。	C
文化伝承館	紙類の資源物の回収	◆メモ用紙等も紙ゴミとしては排出せず、資源物として教育委員会庁舎での回収に回す。	B
市民会館	文書の印刷等には、両面印刷・両面コピー・縮小コピー等を活用し、用紙の節減を図る。	◆文書の印刷時に、設定があるものは両面印刷を行う。片面印刷の書類も、コピー機等で増刷する場合は、両面で印刷を行う。	B
	印刷物について、必要部数を事前に把握することで、用紙の節減を図る。	◆各種会議、実行委員会等での必要部数の事前確認による用紙の節減を図る。また、事業等のチラシやポスターも配布枚数等を設定し、用紙の節減を図る。	B
	電子データで共有できるもの、パソコン画面上で確認できるものは印刷をしない。	◆パソコン上で確認できる書類や、グループウェア等で画面上で確認ができるものについて、必要のない場合は印刷しない。	B
	印刷物発注におけるエコ仕様の検討	◆自主事業等で制作するポスター・チラシ・パンフレットの印刷業者に対し、エコ用紙やエコインク使用の見積りも依頼。金額に大きな開きが無ければエコ仕様で発注する。	B
八千代台文化センター	文書の印刷等には、両面印刷・両面コピー・縮小コピー等を活用し、用紙の節減を図る。	◆文書の印刷時に、設定があるものは両面印刷を行う。片面印刷の書類も、コピー機等で増刷する場合は、両面で印刷を行う。	B
	印刷物について、必要部数を事前に把握することで、用紙の節減を図る。	◆各種会議、実行委員会等での必要部数の事前確認による用紙の節減を図る。また、事業等のチラシやポスターも配布枚数等を設定し、用紙の節減を図る。	B
	電子データで共有できるもの、パソコン画面上で確認できるものは印刷をしない。	◆パソコン上で確認できる書類や、グループウェア等で画面上で確認ができるものについて、必要のない場合は印刷しない。	B
	印刷物発注におけるエコ仕様の検討	◆自主事業等で制作するポスター・チラシ・パンフレットの印刷業者に対し、エコ用紙やエコインク使用の見積りも依頼。金額に大きな開きが無ければエコ仕様で発注する。	B
勝田台文化センター	文書の印刷等には、両面印刷・両面コピー・縮小コピー等を活用し、用紙の節減を図る。	◆文書の印刷時に、設定があるものは両面印刷を行う。片面印刷の書類も、コピー機等で増刷する場合は、両面で印刷を行う。	B
	印刷物について、必要部数を事前に把握することで、用紙の節減を図る。	◆各種会議、実行委員会等での必要部数の事前確認による用紙の節減を図る。また、事業等のチラシやポスターも配布枚数等を設定し、用紙の節減を図る。	B
	電子データで共有できるもの、パソコン画面上で確認できるものは印刷をしない。	◆パソコン上で確認できる書類や、グループウェア等で画面上で確認ができるものについて、必要のない場合は印刷しない。	B
	印刷物発注におけるエコ仕様の検討	◆自主事業等で制作するポスター・チラシ・パンフレットの印刷業者に対し、エコ用紙やエコインク使用の見積りも依頼。金額に大きな開きが無ければエコ仕様で発注する。	B
市民体育館	文書の印刷等には、両面印刷・両面コピー・縮小コピー等を活用し、用紙の節減を図る。	◆文書の印刷時に、設定があるものは両面印刷を行う。片面印刷の書類も、コピー機等で増刷する場合は、両面で印刷を行う。	B
	印刷物について、必要部数を事前に把握することで、用紙の節減を図る。	◆各種会議、実行委員会等での必要部数の事前確認による用紙の節減を図る。また、事業等のチラシやポスターも配布枚数等を設定し、用紙の節減を図る。	B
	電子データで共有できるもの、パソコン画面上で確認できるものは印刷をしない。	◆パソコン上で確認できる書類や、グループウェア等で画面上で確認ができるものについて、必要のない場合は印刷しない。	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
勝田台中央公園小体育館	ポリッシャーを使用する特殊清掃時に排出される汚水の削減。排出量を上期５０Ｌ，下期５０Ｌ，年間１００Ｌとする。	◆体育室床定期清掃については，モップを使用した乾拭きのみとし，特殊洗浄はタイルフロアのみとする。	A
総合グラウンド	文書の印刷等には，両面印刷・両面コピー・縮小コピー等を活用し，用紙の節減を図る。	◆文書の印刷時に，設定があるものは両面印刷を行う。片面印刷の書類も，コピー機等で増刷する場合は，両面で印刷を行う。	B
	印刷物について，必要部数を事前に把握することで，用紙の節減を図る。	◆各種会議，実行委員会等での必要部数の事前確認による用紙の節減を図る。また，事業等のチラシやポスターも配布枚数等を設定し，用紙の節減を図る。	B
	電子データで共有できるもの，パソコン画面上で確認できるものは印刷をしない。	◆パソコン上で確認できる書類や，グループウェア等画面上で確認ができるものについて，必要のない場合は印刷しない。	B
上高野多目的グラウンド	利用者へのゴミの持ち帰りを徹底する。	◆利用者へゴミの持ち帰りを徹底するよう働きかける。	B
八千代台近隣公園小体育館			B
市民ギャラリー	「省エネルギー事業の推進」館内の消灯をシーン別に時間毎に消灯時間を決め，ムダな照明時間を削減。	◆施設を１８のゾーンに分け，閉館後各ゾーンの清掃終了時間に合わせて消灯時間を決めて，パソコン上にて「ＥＭＩＴ照明システム」にて管理を実施。	B
	「一般廃棄物の減量とリサイクルの推進」使用済の牛乳パック・ペットボトル・段ボールを使用，ワークショップを実施し一般廃棄物の削減を図る。	◆８／１６：ダンボールでマイハウスづくり，８／２３：ペットボトルでエコ風鈴づくり，８／２５・９／２０：牛乳パックでじょうろづくり，９／３：牛乳パックで竹トンボづくり，９／３０：段ボールで迷路づくり，	A
青少年課	印刷用紙の使用量を削減する。	◆印刷ミスに気をつけ，両面印刷を心がける。また，機密文書以外の不要紙も裏面を使用する。（通年）	C
ガキ大将の森キャンプ場	水道使用量の削減	◆利用者が調理等で水を使用する際の節水を呼び掛ける。	A
男女共同参画課	事務室で使用する消費電力量を抑え，節電に努める。	◆空調の温度や風量を控えめに設定する。	A
男女共同参画センター	男女共同参画センター施設内で使用する消費電力量を抑え，節電に努める。	◆ロビーや廊下，貸出施設の照明を利用に支障の無い範囲で使用しない。 ◆空調の温度や風量を控えめに設定し，貸出施設利用者に対してもご協力いただく。	A

安全環境部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
生活安全課	市営自転車駐輪場の照明器具のＬＥＤ化を進め，電気使用量の削減を図る。	◆現在，使用設置されている市営自転車駐車場の照明器具が壊れた場合，随時，修繕の際にＬＥＤ蛍光灯に取り換えを行う。	B
	交通安全啓発用啓発品に環境に配慮したものを選定することで，市が環境に配慮していることを外に向けてアピールする。	◆年間を通して実施される「交通安全教室」の際に配布する啓発品や各種交通安全運動等のキャンペーンに配布する啓発品を選定する際，環境に配慮した啓発品を選定する。	B
消費生活センター	一般家庭において不要になった生活用品を市民に情報提供し資源を有効に活用してもらう。	◆「広報紙」・「ホームページ」掲載以外に市役所１階ロビーに掲示される「リサイクル品情報コーナー」を幅広く市民に知ってもらうためのＰＲ強化に取り組む。	B
総合防災課	照明付避難場所標識柱の照明のＬＥＤ化	◆市内各所に設置している照明付避難場所標識柱の照明部分をＬＥＤ化し，省エネルギーを図る。現在４１箇所照明付避難場所標識柱が設置されており，その内１０箇所がＬＥＤ化している。今年度は１７箇所ＬＥＤ化を予定しており，今年度以降も継続していく。	A
環境保全課	市民１人が１日当たり使用している電力量を，１３．２ｋｗｈを目指す。	◆省エネルギー設備等設置費補助金交付を継続する（太陽光発電設備，家庭用燃料電池システム（エネファーム），太陽熱利用システム）。 ◆グリーンカーテンの応募を，６月から周知するとともに，各イベントでグリーンカーテンのメリットを広報する。 ◆節電の取組強化のための啓発。 ◆環境教育として，ふれあい大学や子ども環境教室，職員研	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
		修等を予定しているため、省エネルギーに関連する啓発をする。	
	エコドライブの推進や自動車の使用削減等の広報に努める。	◆大気汚染防止のための冬期対策と併せて、11月から1月の間に、職員及び市民に対し、エコドライブや自動車の使用削減等についてもPRする。	A
	公共用水域への汚濁負荷の削減に努める。	◆公害対策として事業場の排水調査を実施し、基準超過事業場に対して指導する。生活排水対策として高度処理型合併処理浄化槽設置の補助及び家庭でできる生活排水対策の啓発を行う。これらの取組により、公共用水域への汚濁負荷の削減を図る。	A
	地下水汚染地区における汚染除去対策を実施することにより、地質環境の改善に努める。	◆湧水浄化施設、宙水浄化施設及び活性炭ろ過装置による地下水汚染の浄化対策を継続する。併せて、その効果をモニタリングする。一部地区において、浄化対策のための工事を実施する。	A
	谷津・里山保全箇所数を3箇所を増やす。	◆全7回の里山整備の人材育成講座の開催、春・秋の自然観察会、市民湧水調査の年6回程度の実施、里山シンポジウムの開催などを通して啓発を図る。	A
	騒音・振動苦情の減少に努める。	◆特定施設、特定建設作業の届出の際に、規制基準の周知等、適切な公害防止の指導をすることにより、騒音・振動の発生を未然に抑制し、苦情の減少につなげる。	A
	環境学習の参加者を年間延べ1,600人／年とする。	◆環境政策室主催の子ども環境教室(20人)の他、エコツアー(20人)や作品展(グリーンカーテン、谷津・里山70点)などの実施。 ◆ほたるの里づくり実行委員会主催、月1回の整備作業(20人を8回)に加え、夜の生き物観察会(20人)、ザリガニ釣り大会(100人)、作品展(20点)などの実施。	B
クリーン推進課	市民1人1日あたりのごみ排出量を約775g以下にするよう努める。	◆自治会や小学校等で学習会や出前講座の要望があれば随時開催し、生ごみの水切りや買い物袋持参の呼びかけ、八千代市一般廃棄物処理基本計画の説明をおこなっている。また、一般家庭における生ごみ袋の肥化容器等の購入助成を行っている。	A
衛生センター	使用薬品類の管理把握や老朽化した設備の補修・更新を行い、施設の適切な維持管理に努める。	◆現場での薬品類の点検を行う。 ◆設備の故障箇所等を把握し早期の修繕を行う。	A
清掃センター	平成25年度からの継続目標として、平成28年度まで清掃センター基幹的設備の改修工事を行い、施設の老朽化対策と改修後のCO ₂ の3%削減を目標とする。	◆今年度については、前年度の1号炉改修に引き続き、2号炉の基幹的設備の改修工事を行う。	A

都市整備部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
都市計画課	新川周辺地区都市再生整備計画の事後評価における市民アンケートでは再生紙の利用を検討する。	◆市民アンケートの成果品の品質を検証しながら、再生紙の利用ができないかの検討を行っていく。	A
	公共工事における再生材の使用。	◆工事請負契約を締結する際、仕様書に再生材の使用を明記する。	-
	グリーン購入法適合商品の購入を心がける。	◆平成26年度よりグリーン購入適合率が向上するよう、課内の周知徹底を図る。	A
	登庁時及び退庁時はエレベーターを使用せず階段を利用する。	◆月ごとに聞き取り調査を行うことで、意識付けを行うとともに、達成度を把握する。	A
建築指導課	延べ面積300㎡以上の建築物を新築等する際、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づく届け出が必要になる。届け出された建築物が、「住宅の省エネルギー基準(H11基準)の等級4」を満たすよう指導、助言をします。	◆「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づく届け出がされたら、その省エネ計画が、「住宅の省エネルギー基準(H11基準)の等級4」を満たしているかどうか内容を審査する。省エネ計画が等級4を満たしていないようなら、エネルギーを効率的に利用するための措置を指導、助言し、等級4を満たすように努めてもらう。年間を通して、届け出がされるので、逐次取り組んで行きたいです。	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
都市整備課	土地区画整理事業によって設けなければならない公園面積は、３％以上とされている。西八千代北部地区においては、４．７％を確保しており、また、環境アセスメントの千葉県知事意見を踏まえ、地区内の緑化に努める。	◆今後も公園面積の維持・環境アセスメントの遵守に努めていきたい。	A
公園緑地課	環境保全林(２９、６７２㎡)及び保存樹木(８２本)の保全に努める。	◆樹木を年１回(年度末頃)確認し、樹木の状態が悪い場合には、所有者に樹木医を紹介する等、樹木が枯損しないよう取組を行う。	A
	市民が緑豊かな街と感じられるよう、緑化協定の推進や都市公園面積の増加を図る。	◆開発等の事業者に対して、開発行為等の協議や建築物等の新築及び建替時における確認があった際に協力を求めている。	A
土木管理課	エコドライブの推進	◆アイドリングストップ等によるエコドライブを心がける。	A
	グリーン購入の推進	◆昨年度に引き続き、グリーン購入の比率の上昇を目指す。	B
土木建設課	土木工事発注の際、再生品の材料を使用する。	◆工事の設計書に再生品を使用するよう明記する。	A
	工事機材は低公害のものを使用	◆低公害の機材で施工するように工事の設計をする。	A
	雨水を地下に浸透させ雨水流出量の抑制、地下水のかん養に努める。	◆建物の新築・増改築の際、雨水浸透桝等の設置について協力を依頼する。また、市道の歩道新設・補修の際、浸透舗装の採用に努める。	A

産業活力部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
産業政策課	所管するイベントに伴うゴミの減量を図る。	◆所管するイベントに伴うゴミの減量を図るため、主催団体に働きかける。	C
農政課	園芸用廃プラスチック処理対策推進事業について、農家の方に周知し適切な処理をすることを促す。	◆八千代市農協と協力し、事業の実施及び適切な処理について広く周知させる。 実施予定時期：１０月、２月	A
	畜産農家の方に家畜の糞尿処理について周知を徹底し、適切な処理をすることを促す。	◆千葉農業事務所等の関係機関と協力し、適切な処理を広く周知及び指導をする。	A
	市内産農畜産物の地産地消を推進する。	◆千葉農業事務所、八千代市農協等の関係機関と協力し、イベント開催時や出展の際に市内農畜産物の紹介などを実施する。 実施予定時期：主に５月～１０月	A
農業交流センター	グリーン購入適合商品の購入。廃棄用紙の減量に努める。	◆本年度も引継ぎ、消耗品購入時、グリーン購入適合商品を積極的に購入する。また、試し印刷をしミスコピーを減らし紙の節約をする。	B
八千代ふるさとステーション	地産地消の推進	◆農産物直売所における来客者の増加方策の実践により、結果として遊休地の解消等による自然環境の保全が図られること。	A
商工課	商店会等が行う商業活性化イベントにおけるごみの排出抑制を主催者に働きかける。	◆商店会等が行う商業活性化イベントにおけるごみの排出抑制について、補助金交付決定時に主催者をお願いをする。	A

会計課

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
会計課	支出伝票に添付する資料を明確化し、不必要な添付資料を減らす。また、両面印刷を推進し、紙の使用量の削減に努める。	◆グループウェアの掲示板や電子書庫等を活用し、支出伝票に必要な書類を例示する。添付資料は両面印刷を推進する。不要な資料は担当課に都度返却し周知をはかる。	A
	八千代市グリーン購入基本方針に基づき消耗品の購入を行い、対象品目でのグリーン購入商品率９０％以上を維持できるようにする。	◆年間を通じ、消耗品購入の際はカタログやインターネット等で事前にグリーン購入法適合品かどうかを確認し、購入する。	D

委員会事務局等

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
議会事務局	事務局内及び会派内でのペットボトル・缶・ビン等の分別を徹底し、キャップや乾電池は回収してリサイクルをする。	◆ゴミの分別について議員及び職員に周知徹底を図るとともに、分別がなされているかチェックを行うようにする。	B
	グループウェアの掲示板の文書については、紙への出力を避けることで、印刷文書の削減を図る。	◆文書は各々のパソコンで確認することとし、紙に出力しないよう職員に対して周知を図る。	A
選挙管理 委員会事務局	リサイクル、リユースへの取り組み量を増やす。	◆資料の内容を精査の上、機密文書となる資料と、資源ごみとしてリサイクルできるものを庁内の機密文書処分ごとに分別していく。また、その際に排出されるファイル等もリサイクル可能なものは、再利用していく。	A
	事務用品について、グリーン購入適合商品を購入する。	◆特に選挙時に多く購入する消耗品等について、グリーン購入適合商品の購入を意識する。	B
監査委員 事務局	グリーン購入の推進。	◆消耗品については年間を通してグリーン購入法適合商品の購入に努める。	A
農業委員会 事務局	農地転用許可制度の適正な運用により、農地の優良性や周辺の土地利用状況等により農地を区分し、農業上の利用に支障の少ない農地等へ誘導するなど優良農地の確保に努める。	◆農地法及び千葉県提示する農地転用関係事務指針に基づき、適正に審査を行う。	A

教育委員会

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
教育総務課	教育委員会庁舎の電力使用量を上半期0.5%, 下半期0.5%, 前年度に対して削減する。	◆夏季のクールビズの推進, 冬季のウォームビズの推進。	A
郷土博物館	電気使用量を抑制する。	◆来館者がいない場合は常設展示室消灯し冷暖房も可能な限りOFFにし、電気使用量を前年度比13%削減する。	B
	グリーン購入の推進	◆文具類・照明器具・OA機器（トナーなど）を購入の際はグリーン購入法適合品あるいはリサイクル商品の購入に取組み、グリーン適合率100%を目指す。	B
大和田小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆第3学年では1学期にホテルの住める環境を考える活動を通して、第4学年では2学期に印旛沼や新川の水質保全を考える活動を通して、人と自然値の共存に関する理解を深める。	B
睦小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆子どもサミットの活動を通し、近隣中学校と連携して環境教育に取り組む。 ◆地域清掃を行い、児童が環境について考える機会を設ける。 ◆各教科の学習の中で、環境についての知識・理解を深める。	B
阿蘇小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆5月、9月、12月にPTAや地域の方々の協力を得ながら古紙やアルミ缶等の資源回収を行う。 ◆4月に田植え、10月に稲刈りなどPTAや地域の方々の協力を得ながら「コメ作り体験活動」を実施する。 ◆年間を通して「募キャップ」活動を行う ◆6月に地域の協力を得ながら「里山体験活動」を実施する。	A
八千代台 小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆毎日の掃除・ゴミ拾い等を行う中で児童に環境について考えさせる機会を設ける。 ◆研究科目もある理科、その他の授業の中で環境についての知識を深めさせる。	A
八千代台東 小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆子どもたちが保護者会のリサイクル活動とタイアップしてのリサイクル回収を行う中で環境について考えさせる機会を設ける。	B
		◆社会科や総合等の授業の中で環境についての知識を深めさせる。	B
		◆小中連携で環境教育に取り組む。	C

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
八千代台西 小学校	環境教育、環境学習の視点を取り入れた授業づくりと、実践活動の検討	◆生活科、社会科研究を通して、単元計画の中に環境教育の視点を取り入れた授業実践の工夫をしていく。 ◆地域子どもサミットの一環として、高学年を中心にリサイクル活動や地域の清掃活動に取り組む。	B
勝田台小学校	学校施設から出るゴミの量を少なくする。特に学級から排出される紙のゴミは、リサイクルに回すなどの工夫をする。また、落ち葉のゴミは腐葉土を作るための材料として回すようにする。	◆年間を通して教室から出されるゴミに職員一同が関心を持ち、教師と子どもが意識してゴミの軽減について実践する。 ◆学校周辺の街路樹や敷地内の樹木の落ち葉で、銀杏を除く広葉樹については、腐葉土を作る場所を確保して、全校体制で取り組んで可燃ゴミを減らす。	B
勝田台南 小学校	勝田台自治会や勝田台近隣校と協力して清掃活動（ゴミゼロ運動・落ち葉掃き）などに取り組み、環境保全活動に地域で取り組む。	◆5月 ゴミゼロ運動 ◆10月 落ち葉掃き ◆11月 ゴミゼロ運動	B
米本小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討	◆地域清掃等を行う中で、児童たちに環境について考えさせる機会を設ける。 ◆総合的な学習の時間に環境について学ぶ機会を設ける。	B
米本南小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討いたします。	◆小学校4年のゴミ処理についての学習を1学期に行い、ゴミの減量化について考え、学校や家庭で実践する。 ◆「緑のカーテン」を実施し、緑のカーテンを取り入れることによってどのような環境効果があるのかについて実験などを交えて理解する。	B
大和田南 小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	年間を通して （１）廃棄物・リサイクルに関する活動 ①常時回収箱を設置し、アルミ缶、ペットボトルキャップ、テトラパックを回収します。 ②生活科や社会科、総合的な学習の時間等において、資源の大切さ、環境を守る大切さを学習するとともに、廃棄物処理及び環境サイクルを踏まえた自然保護や社会生活の実現に向け、体験学習を取り入れた学習を実施します。 （２）地球環境問題に関する活動 ①節電・節水など省エネ活動に努めます。	B
高津小学校	環境学習、環境教育の新しい機会の検討	◆理科や総合的な学習で植物を育てることによって、自然環境を守ることの大切さに気付かせていく。（今年度は上学年の活動の充実） ◆リサイクル委員会の活動の活発化	B
南高津小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆学習指導要領に基づき、本校教育課程の中で環境教育をどのように実施していくか検討する。	B
西高津小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	年間を通して （１）廃棄物・リサイクルに関する活動 ①常時回収箱を設置し、アルミ缶、ペットボトルキャップ、牛乳パックを回収する。 ②7月に地域のクリーン作戦（学区内美化活動）を実施する。 ③牛乳パックやペットボトル、アルミ缶、トレーなどの廃材を使って工作を行い、資源の大切さ、環境を守る大切さを学習するとともに、身近な生活の中で実践できるリサイクル活動を推進する。 （２）地球環境問題に関する活動 ①節電・節水など省エネ活動に努める。	B
村上小学校	環境学習・環境教育の充実 総合的な学習の時間を他教科と横断的に連携して実施する	◆子どもたちがPTAのリサイクル活動とタイアップしてのリサイクル回収を行う中で環境について考えさせる機会を設ける。 ◆社会科や総合等の授業の中で環境について考えさせる機会を設ける。	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
村上東小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施の検討	◆まが玉池周辺を「まが玉の里」と称し、「なかよし広場」とともに整備，管理を充実させ，子どもたちの感性を育む教育環境を推進します。	B
大和田西小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境学習の実施を検討します。	◆社会科や総合的な学習の時間において，廃棄物処理にかかわる社会参画の在り方，環境サイクルを考えた自然保護や社会生活の実現に向けた考え方について，知識の習得や体験型の学習を実施します。	B
村上北小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 職員の環境改善の周知・実践	◆学習指導要領に基づき，本校教育課程の中で環境教育をどのように実施していくか検討する。 ◆定期的に職員打合せで周知・徹底していく。	B
新木戸小学校	節電，節水等に努める	◆委員会を通じ，ポスター作製や放送等で全体に呼び掛ける。使用していない教室の電気は消灯する。	B
萱田小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆児童会を中心とした「節電・節水」を年間を通して呼びかける。 ◆「総合的な学習の時間」において，環境について児童が調べ，考えることで環境に対する態度を養う。	B
萱田南小学校	環境教育の実施	◆4年生社会「ごみのしよりと利用」の学習 ◆5年生社会「環境を守るわたしたち」の学習 ◆たすけあい委員会によるリサイクル活動の実施と広報	A
みどりが丘小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆子どもたちが保護者会のリサイクル活動とタイアップしてのリサイクル回収を行う中で環境について考えさせる機会を設ける。 ◆社会科や総合等の授業の中で環境についての知識を深めさせる。	B
八千代中学校	ゴミの減量とリサイクルの推進	◆ペットボトルキャップ，資源ゴミの回収を行う中で，生徒たちに環境について考えさせる機会を設ける。	B
睦中学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆授業の中で環境についての知識を深めさせる。 ◆ペットボトルキャップの回収や地域清掃等を行う中で生徒たちに環境について考えさせる。	B
阿蘇中学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆地理（開発の進展と環境問題やエネルギーと環境問題），歴史（江戸時代のエコ生活），公民（地球環境問題），理科（新エネルギーと環境問題）及び時事問題の中で環境について知識を深め，エコについて討議・考察を行なわせ，身近な問題として生徒達に受け止めさせる。 ◆福祉活動としての「クリーン&挨拶運動」で地域のゴミ拾いを行う際，環境について考えさせる機会を設ける。 ◆募キャップ活動を通して環境について考えさせる機会を設ける。 ◆子どもサミットの今年度のテーマとして「環境」について地域の小・中・高・大と連携して話し合いをする。また，東京成徳大学の文化祭で「環境」をテーマにブースを開設し，地域の方々に環境について関心を持ってもらう。	B
勝田台中学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆5月31日，勝田台自治会で行われたゴミゼロ運動に144名が参加した。そのなかで，環境問題について考えさせる機会を設ける。 ◆11月に行われる学区の落ち葉掃き清掃に積極的に参加を呼び掛け，身近な地域の環境について関心を持たせる。 ◆子どもサミットを中心とした環境対策の取組みへの参加。	B
大和田中学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討	◆校内での奉仕活動や地域の美化活動，エコキャップの回収などの活動を通じて，環境について考える機会を設ける。	A
		◆社会や理科，保健体育の授業を中心に環境問題を取り上げ，環境に関する知識・理解を深める。	A
	小・中学校での環境教育の実施を検討する。	◆中学校区での清掃活動を通して，地域全体で環境について考える。	D
高津中学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆子どもサミットと連携した地域のゴミ拾いや，学校内の美化活動を通して環境について考えさせる機会を設ける。 ◆理科や社会，技術・家庭科等の授業を通して環境に関する知識・理解を深める。	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
八千代台西 中学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆日々の清掃活動を行う中で生徒たちに環境について考えさせる機会を設ける。 ◆授業の中で環境についての知識を深め、各自の考えをまとめたり、話し合い環境問題への関心を高める。	B
村上東中学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討	◆生徒会を中心に年間を通して、ペットボトルキャップ、テトラパック、資源ゴミの回収を行い、生徒集会や学活で回収の意義について話し合ったり、回収量の報告を通して、環境に対する意識の高揚を図る。	A
東高津中学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆清掃やボランティア活動を通して、生徒たちに美化を含めた環境について考えさせる機会を設ける。 ◆社会科や技術家庭科を核として、授業の中で環境についての知識を深めさせる。	B
	学校内での光熱費、生活水費、紙用紙費、及び使用量の縮減に全校レベルで努める。	◆掲示や放送等の啓発活動を推進し、縮減の意識化を図る。 ◆ミス文書や支障のない文書は、リサイクルに回す。	B
村上中学校	生徒会を中心に全生徒で節電、節水を心掛け、昨年度よりも電力量、使用水量を低くおさえる。 小学校と連携し、落葉掃き、ゴミ拾いなど、村上地区の地域環境の改善に取り組む。	◆生徒会を中心に校内の節電、節水の呼びかけを行う。村上地区の地域環境についてアンケートを実施し、中学生として取り組める内容を明確にし、自治会や地域の関係機関と連携を図っていく。	B
萱田中学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆地域美化活動を通して、地域の方々の環境についての取り組みを学び、環境について考える機会とする。	B
学務課	市内各小中学校における光熱水費の削減に努めるよう働きかける。	◆市内小・中学校の管理を所管する教育総務課と連携して、校長会議、教頭会議等において光熱水費の削減を積極的に働きかけるとともに、残業時間縮減を働きかける。	A
少年自然の家	少年自然の家利用者に対して、節電及び節水の協力を呼びかける。	◆施設使用者に対し、口頭あるいは掲示物等により節電・節水を呼び掛けるとともに、不要な電気が点灯していないか等、職員が小まめに巡回する。	B
	給食や野外炊事等で排出されるゴミの減量。	◆利用者に対しゴミの分別を呼び掛けるとともに、生ごみの水を切る、リサイクル容器の利用等、ゴミの減量を推進する。	B
指導課	小中学校の環境教育の充実を図る。	◆各学校の環境教育への取組を把握し、各学校の状況に応じた実践を奨励していく。 (ビオトープの活用 環境美化教育 里山体験活動など)	B
教育センター	紙の使用量削減に努める。	◆両面印刷を心がけ、ミスパ rint や支障のない文書については裏紙活用する。(通年で取り組む)	B
	電気使用量縮減に努める。	◆昼休み時間、教育センター内の室内灯を消灯する。(通年で取り組む)	B
青少年 センター	公用車使用の際は、効率よく走行し、エコドライブを心がける。	◆パトロールコースを事前に作成し、エコドライブを心がける。	A
適応支援 センター	使用していない場所の電気をこまめに消す。	◆通所児童生徒に各室退出時の消灯を呼び掛け、職員が、消灯を確認する。	A
	紙類の資源物の再利用を心がける。	◆ミスパ rint や支障のない文書については裏面を再活用する。	A
保健体育課	環境にやさしい運転マナーの普及	◆エコドライブ(アイドリングストップ、空気圧・オイルなどの点検、急発進・急ブレーキの回避など)によるエネルギー効率の良い、無駄のない運転を奨励します。	A
西八千代 調理場	学校給食センターの一般廃棄物量の減少	◆給食作業での、野菜処理において出る野菜くず等の一般廃棄物の減少に努める。 ◆児童、生徒への食育の一環として、学校訪問を1、2学期で36回行い指導し給食残さ減少に努める。 ◆白井市にあるリサイクル業者との契約が可能であるかなど調査し、残さをリサイクル出来るようにしていきたい。 ◆食育の推進を八千代食育ネットワーク協議会と連携してより推進する。	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
	学校給食センター産業廃棄物排出量の減少	◆調理場で、食材等の梱包等が出るプラスチック類の排出を減少する。 ◆産業廃棄物をリサイクルしている業者を探し、今後は、リサイクル出来るようにしていきたい。	A
	職場内でグリーン購入を増やすように努める。	◆消耗品を購入する際、エコマーク商品掲載カタログを活用して購入するように努める。	A
村上調理場	学校給食センターの一般廃棄物量の減少	◆給食作業での、野菜処理において出る野菜くず等の一般廃棄物の減少に努める。 ◆児童、生徒への食育の一環として、学校訪問を1，2学期で36回行い指導し給食残さ減少に努める。 ◆白井市にあるリサイクル業者との契約が可能であるかなど調査し、残さをリサイクル出来るようにしていきたい。 ◆食育の推進を八千代食育ネットワーク協議会と連携してより推進する。	A
	学校給食センター産業廃棄物排出量の減少	◆調理場で、食材等の梱包等が出るプラスチック類の排出を減少する。 ◆産業廃棄物をリサイクルしている業者を探し、今後は、リサイクル出来るようにしていきたい。	C
	職場内でグリーン購入を増やすように努める。	◆消耗品を購入する際、エコマーク商品掲載カタログを活用して購入するように努める。	A

消防本部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
消防総務課	缶・ペットボトルの回収をし、リサイクルすることで、ゴミの削減とCO ₂ の削減に努め、職員のリサイクルに対する意識を高める。	◆自動販売機業者と協議し、缶・ペットボトルの丸ごとの回収方法により、回収率を増加させる。	A
中央消防署	火災の被害を軽減させるため、市内全小学校の4年生を対象に防火体験を実施し、初期消火の技術を習得させ、火災の拡大を防ぐことによりCO ₂ を削減する。	◆市内全小学校に防火体験の実施希望調査をし、年度内に全小学校4年生が体験できるよう調整を図り、消火に必要な知識と技術を学ぶとともに消火器で火を消す体験をさせる。	B
東消防署		◆市内全小学校に実施希望を調査し、年度内に全小学校の4年生が体験できるように便宜を図り、消火に必要な知識と技術を学ぶとともに消火器で火を消す体験を実施する。	A
八千代台分署		◆市内全小学生に防火体験の実施希望調査をし、年度内に全小学校の4年生が体験できるよう調整を図り、消火に必要な知識と技術を学ぶとともに消火器で火を消す体験をさせる。	A
		◆八千代台分署壁面・屋上の緑化は建物の断熱性を高め、省エネルギー効果も期待できる。	A
睦分署	電気使用量の削減。	◆睦分署南側に位置する待機室兼食堂の窓際に、ゴーヤの植物でグリーンカーテンを作り、日差しを遮りエアコン使用時の電気使用量削減に努めます。	A
	ペットボトルのキャップを回収して、500個で4000グラムのCO ₂ の削減。	◆「エコキャップ運動」として、睦分署内の庁舎内に、ペットボトルのキャップを回収するボックス（子供ワクチン貯金箱）を設置して、通年回収により活動団体へ提供することで、ゴミの削減とCO ₂ 削減に努める。	B
勝田台分署	火災の被害を軽減させるため、市内全小学校の4年生を対象に防火体験を実施し、初期消火の技術を習得させ、火災の拡大を防ぐことによりCO ₂ を削減する。	◆市内全小学校に防火体験の実施希望調査をし、年度内に全小学校の4年生が体験できるよう調整を図り、消火に必要な知識と技術を学ぶとともに、消火器で火を消す体験を実施させる。	A
予防課	市内危険物施設における危険物漏えい事故防止。	◆危険物施設を保有する事業所に対し危険物安全週間中に安全講習会を実施し、日ごろの定期点検及び日常点検等の必要性を周知徹底する。また、危険物施設に立入検査等を実施し、危険物施設の適正管理に努めるよう指導し、危険物の漏えい事故防止を図るとともに環境汚染の軽減を図るものとする。	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
警防課	救命講習，広報紙，市のホームページ等による広報活動により，市民への救急車の適正利用を呼びかけ，不要不急の救急車の利用を減らすことにより，CO ₂ 及び感染性廃棄物の削減を図る。	◆毎月実施予定の救命講習会，市のホームページ等で救急車の適正利用を呼びかける。	B
指令課	平成19年度から高機能消防指令センターの導入により，災害現場に一番近い車両が自動的に選択されるシステムの運用により，災害現場の直近車両が出動する事で時間短縮と燃料の節約になり，CO ₂ 排出の減少を図る。	◆指令課内において，エコアクション21及びグリーン購入の推進・啓発に取り組みます。	A

上下水道局

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
経営企画課	電気使用量の削減（前年度使用量以下にする）	◆エアコンの使用頻度の抑制及び設定温度の調整 ◆グリーンカーテンの設置による温度上昇抑制 ◆パソコンを一定時間で自動的にスリープとなるよう設定	A
	コピー用紙の使用量の削減（前年度以下にする）	◆両面印刷の徹底，裏面の使用の推進	A
	低公害車（ハイブリットカー）の有効利用	◆事業管理者用の低公害車を他課にも貸し出し，有効活用を図る。	A
給排水相談課	下水道整備の推進	◆水洗化の啓発及び促進を行い，下水道整備区域内の未接続世帯への早期着工を促し，適正な排水設備の執行を促すことにより，環境への負荷軽減を図る。	A
	自動車排出ガスの削減	◆緩やかな発進や適正な速度での走行など，エコドライブを心がける。庁舎付近の現場等については，可能であれば徒歩で向かう。	A
	ゴミの減量	◆ミスをしたコピー紙の裏面や不要になったファイルなど，再利用が可能な備品を再利用する。	B
建設課	下水道整備の推進	◆下水道区域の整備を推進し，下水道普及率の向上を図る。	A
	水道管の耐震化率の促進	◆災害時に漏水及び破損の恐れがある水道管を耐震性に優れた管に整備・促進を図る。	A
	紙の使用量の抑制	◆工事のお知らせの紙をマッピングシステム，ゼンリン等を利用し配る範囲の部数を確認してから印刷し，できるだけ無駄な紙は使わない。	A
維持管理課 （上水）	管の布設後30～40年を経過し，老朽化，経年劣化等に伴う給水管・配水管の漏水対策修繕が毎年300件前後も発生していることから，迅速な修理を行い有収率・有効率の向上を図ります。	◆修繕の依頼先である事業者との連携を図り，早急に漏水を修繕していきます。	A
	給・配水管及び付属施設の地下漏水を早期に発見し修理することで無効水量の減少を図り，有収（有収）率の向上を図ります。	◆平成27年10月から平成28年3月にかけて漏水調査を実施予定です。 調査地域に関しては，現在調整しております。	A
維持管理課 （下水）	経年劣化等による汚水管の破損箇所より雨水等が浸入している箇所があり，大雨の際に汚水がマンホールより溢れることがあるため，計画的に汚水管の調査と補修を実施し，衛生的な環境の維持を図る。	◆管内の調査を行い，その結果に応じた補修を行う。	A
村上給水場	新エネルギーや省エネルギーとなる設備等を導入及び更新を進めていきます。	◆省エネルギー設備の導入を平成26，27年度に行う米本浄水場改良工事にて実施します。	A